

<< オンネット >> だから使える新 アプリケーション

(ADSL、無線アクセススポット、
常時接続環境をフル活用!)

ADSLが普及したおかげで、高速な通信環境はわりと普通に手に入るようになった。しかし、ADSLのもうひとつのメリットは常時接続、つまり24時間いつでもネットが使えるようになったこと。この環境によって「使える」アプリケーションを紹介しよう。

編集部

ADSLのような高速回線の普及により、動画のストリーミングやファイルのダウンロードといった用途でインターネットを利用する人が増えている。しかし、高速であることに加えて、常時接続であるという点もまた、インターネットに対する意識を大きく変えたと言えるだろう。インターネットに接続する、という行為を意識的に行っていた状態から、パソコンの電源を入れる = インターネットに接続されているのがあたりまえ、という感覚へとブロードバンドユーザーの意識は知らずのうちに変化しているのだ。

こうした環境の変化によって、パソコンのアプリケーションもまた変化を始めている。ダイヤルアップ時代のインターネットアプリケーションとして大ヒットした「ポストペット」は、現在最新版となる「V3」のベータテストを開始している。現状では、ペットのキャラクターが3D化し、これまでの「部屋」から「家」へとグレードアップするといった見た目での変化ばかりが目につく

が、今後は専用のサイトである「ポストペットパーク」を通じて、ユーザーどうしがオンライン環境にあることを前提とした機能を提供していく予定となっている。電子メールの普及に大きく貢献したポストペットも、いよいよ常時接続環境に合わせた進化を遂げようとしているのだ。

また、これも以前から提供されてきたメッセージ型のアプリケーション「ボトルメール」も、常時接続を前提とした「ボトルメール3」となり、常駐しておくメッセージが自動的に流れ着くように変化している。また、こうしたコミュニケーションを主体としたアプリケーションはだけでなく、リアルタイムに変化するデータをインターネットから取得する形のアプリケーションも増えている。ここではこうした、ネットワーク接続環境があつてこそ機能する、「オンネット」型のアプリケーションを紹介していこう。

PostPet V3

大人気のメールソフトが、3D化や常時接続向けの機能を追加してバージョンアップ。

開発元: ソニーコミュニケーションネットワーク(株)
価格: 未定(2002年12月頃発売予定)
www.so-net.ne.jp/postpet3/

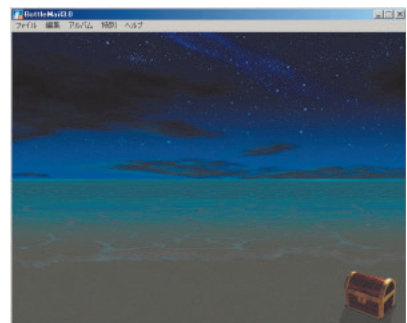


3D化など見た目の進化だけでなく、ポストペットパークとの連携でオンラインならではの楽しさも提供される。

ボトルメール3

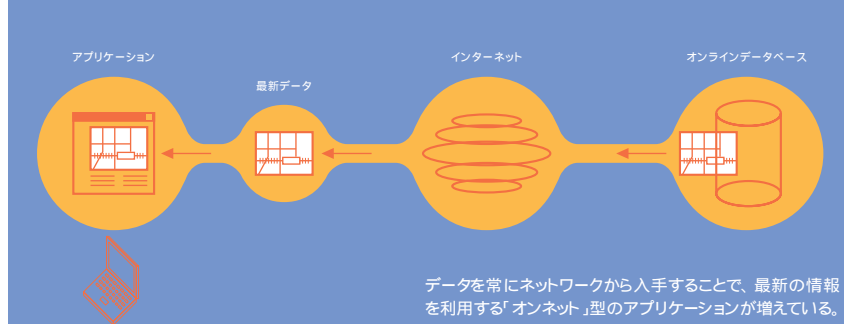
ビンに入れられたメールがプカプカやってくる、通常のメールとは一味違うコミュニケーションソフト。

販売元: (有)情報建築
価格: 3,000円(年額) 300円(月額)
www.bottlemail.jp



自分のメッセージが誰かのもとに流れ着く、ボトルメールの最新版は常時接続を強く意識している。

「オンネット型」のアプリケーション



「駅前探検倶楽部」が専用アプリになった ekitan Express Online

きめ細かな路線検索が可能な人気サイト「駅前探検倶楽部」が便利に使える専用アプリケーション。すべての条件を1画面で設定できるのが特徴。

販売元：株式会社
価格：1,800円
ekitan.com

ウェブで電車の効率的な乗り換えが検索できる「駅前探検倶楽部」の専用アプリケーションがこの「ekitan Express Online」だ。ウェブブラウザからだと、まず乗車駅と下車駅を入力し、出発時間や経由地を入力すると、具体的な経路が表示されるようになっている。この間に、ウェブ上のボタンを2度押す必要があり、その都度サーバー上ではCGIが起動して次の画面が出るまでに少々時間がかかってしまう。一方、ekitan Express Onlineであれば、検索条件はすべて1つの画面にまとまっているため、すべての条件を入力すれば、一発で経路が表示されるという便利さがある。

こうした鉄道の経路検索には専用のソフトもあるが、多くは「月の時刻表」といったものをダウンロードして、最新版に更新していかなければならない。その点、ekitan Express Onlineであれば、常に最新の時刻表を元に検索できるというメリットがあるのだ。

ekitan Express Onlineには、JR東日本などの情報を元にした、現在の運行状況を表示するボタンもついている。しかし、列車の運行状況であれば、この「LED発車標」のほうがさらに高機能だ。見た目は駅にある発車標そっくりにカスタマイズでき、JR以外にも小田急や東急、営団地下鉄といった各社のサイトに掲載されている運行情報を自動で取得して、駅の発車標と同様にスクロールするLED画面を模して表示してくれるものだ。これで「駅に行ったら電車が止まっていた」ということも少なくなるかも。鉄道ファンでなくとも、常駐させておくと便利な1本だ。

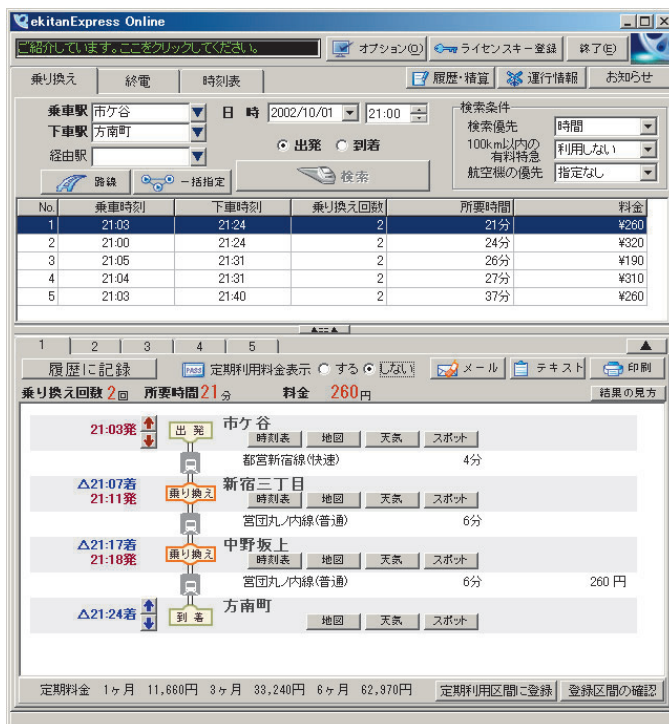
リアルタイムの列車運行状況 LED発車標

鉄道各社が提供している運行状況を、定期的にダウンロードして表示する。

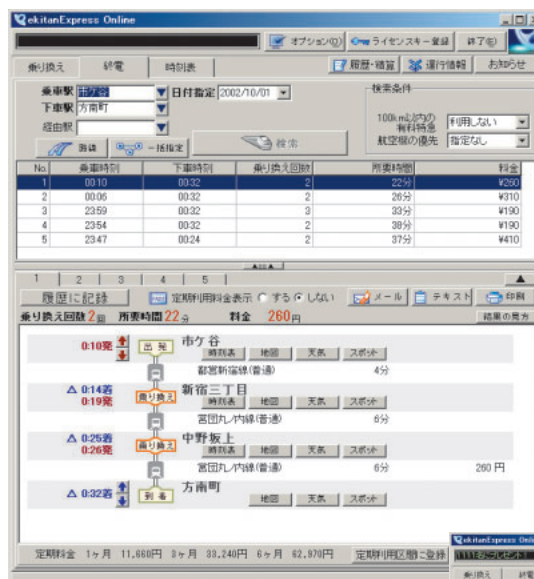
作者：tht氏
ソフトの種類：フリーウェア
curiosat.jp.org/software/

3 中央・総武線 中野・三鷹・立川・高尾方面 for Nekkō, Mito, Tachikawa & Tama 房線は、木更津駅で発

JRや私鉄の駅を模した各種の「スキン」も用意されていて、見た目の変更も簡単だ。



乗車駅と下車駅、出発時刻や経由地といった検索条件を指定すれば、あとはネットワーク経由で最新の時刻表を元に最短の経路が表示される。さらに駅周辺の地図なども表示可能。



もっとも遅く帰れる終電検索、各駅各線の時刻表の表示、経路の定期券料金の表示といった、路線検索ソフトとして必要な各種の機能を備えている。



常に最新の地図で検索できる
Zm@p on net for PC

住宅地図で有名なゼンリンが提供する地図ソフト。地図データはすべてオンラインからダウンロードするので、常に最新の地図を確認できる。

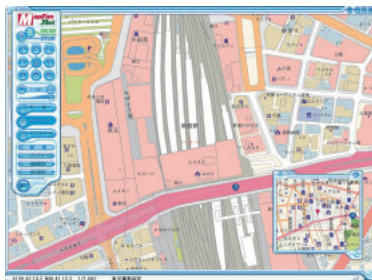
販売元: 株式会社ゼンリンデータコム
価格: 2,800円(年額) 300円(月額)
www.zmap.net

最大に拡大した状態ではビルや建物の形もはっきりわかる。常に最新版の地図なので、店舗情報などの信頼性は高い。



ゼンリンデータコムの「Zm@p on net for PC」は、常にインターネットから最新の地図をダウンロードして表示するタイプの地図ソフトだ。カーナビのように経路を検索できる広域図から、建物の形までわかる1/1500まで、すべての地図がダウンロードして表示されるが、一度見た地図はキャッシュに溜まっていくため、ネットワークに接続していない状態(アプリケーションにネット接続のオンオフボタンがある)でも、ある程度は利用できる。

通常の地図ソフトのように、固定された地図情報でなく、コンビニエンスストアや銀行のATMなど最新の情報が表示されるのが、こうしたオンネット型の地図の最大のメリットだ。ただし、こうした仕組みのため、PHSなどの回線で利用した場合には地図の表示までにやや時間がかかってしまう。できれば無線アクセススポットなど、モバイルでもブロードバンド環境でこそ使いたいアプリケーションだ。



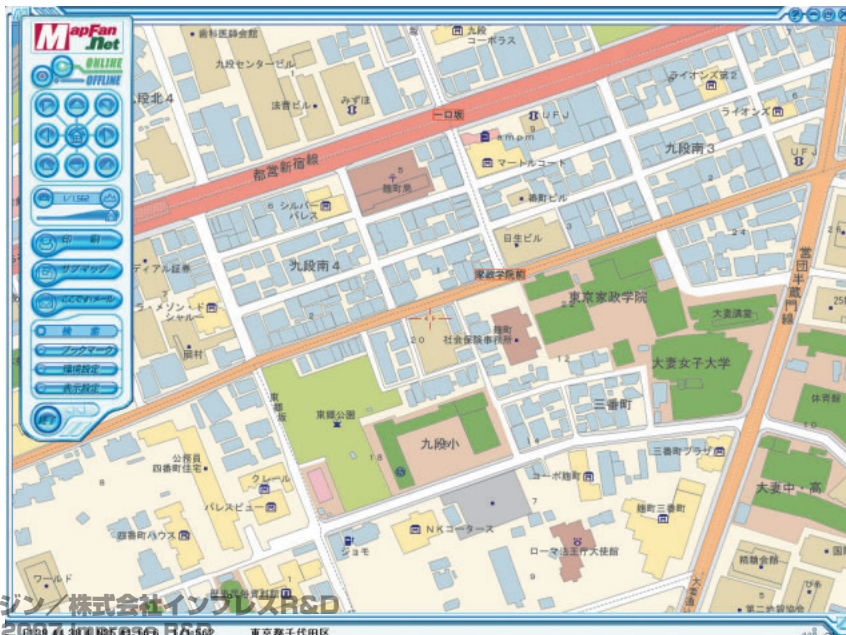
現在地からのより広域な地図を表示する「サブマップ」、道路や建物をどう表示するかといったカスタマイズ機能など、地図ソフトとしての完成度も高い。

快適に見られるオンライン地図
MapFan.net

最新の地図データを常時ダウンロードしながら利用する地図ソフトウェア。独自の地図フォーマットによって軽快な動作が特徴。

販売元: インクリメント・ピー株式会社
価格: 3,200円(年額)
www.mapfan.net

携帯電話やカーナビなどで地図情報を提供しているインクリメントPの、パソコン用の地図ソフトが「MapFan.net」だ。こちらも最新の地図データをネットワークからダウンロードする形だが、独自の地図データフォーマットの採用によってデータ量を圧縮しているため、軽快な動作が最大の特徴だ。実際、ADSLなどの高速環境で利用すると、とても地図をダウンロードしながら表示しているとは思えないほど、次々に地図が表示されていくのが小気味良い。もちろん、データ量が小さいとは言っても、地図としての情報が落ちるわけではなく、最大に拡大した1/1562の状態では、建物の形まではっきりと表示される。もちろん経路検索など、地図ソフトとしての機能もすべて揃っている。また、同じMapFan.netを使っているオンライン状態のユーザーの現在位置を表示する機能など、ネットワーク接続ならではの機能があるのも面白いソフトウェアだ。

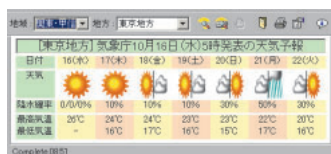


週間予報から気象衛星の画像まで TWeather

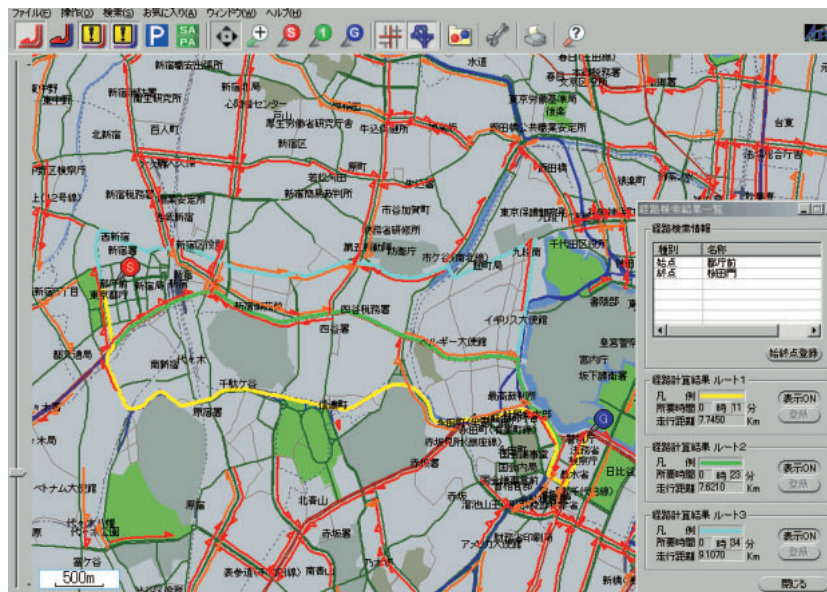
気象協会提供の天気予報を自動でダウンロードして表示する。

作者: あらたく氏
ソフトの種類: フリーウェア
www.iissa.co.jp/ fma/arata/

ネットワークから情報を取得して、最新の情報を表示する形のソフトウェアの基本とも言えるのが、この「TWeather」だ。日本気象協会が発表する天気予報を元に、1週間分の天気、降水確率、気温の予報を表示するもので、さらに天気図をダウンロードして壁紙として設定する機能も備えている。気象情報に特化したシンプルでわかりやすいソフトウェアで、天気を気にする職業の人などが、パソコンのスタートアップメニューに加えておくには最適なソフトウェアと言えるだろう。



地域を選んでボタンを押すだけのシンプルな操作画面。起動時にデータを自動取得しておくようにするとさらに便利だ。



渋滞情報がついにパソコンでも利用可能に! ATIS on net

リアルタイムの道路情報「VICS」がついにパソコンでも利用可能に。最新の渋滞情報をリアルタイムでチェック。

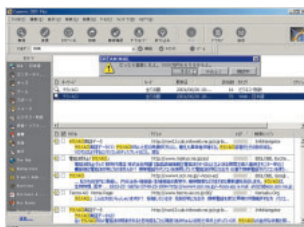
販売元: 交通情報サービス㈱
価格: 10,000円(月額)
www.atis.co.jp

あらゆる検索を一手に引き受ける Copernic 2001 Plus

600以上の検索エンジン、40以上のカテゴリで横断的に検索できる、情報収集のためのエキスパート。

販売元: F&CAT Inc.
価格: 2,980円
www.copernic.co.jp

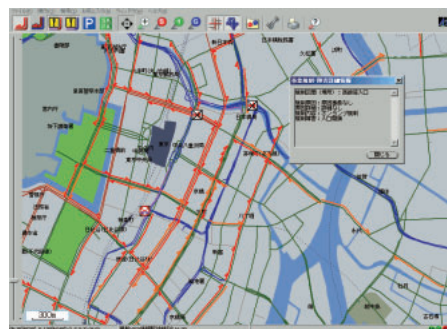
「Copernic 2001 Plus」は、数多くある検索サイトを横断的に検索できる、検索に特化したアプリケーションだ。有料版のPlusだけでなく、機能を限定した無料版もダウンロード可能。ただ単語を検索するだけでなく、たとえば「古本」「懸賞」といったカテゴリに応じて、多数の専用サイトにも検索をかけるのが特徴。調べたいことがあるとすぐに検索サイトに直行するタイプの人なら、おすすめのソフトウェアだ。



各種検索サイト、ジャンルごとの専門サイトからの横断的な検索が可能。

現在、リアルタイムの渋滞情報は、各都道府県の警察や道路公団などからの情報をもとに、日本道路交通情報センターに集められ、一般に「道路情報」として流されている。以前はラジオやテレビなどで定時的に流されるだけだったこうした情報も、現在ではカーナビ用に「VICS」という名称で、リアルタイムの交通情報が提供されている。このVICS情報をインターネットを通じて、パソコンに配信するのが「ATIS on net」だ。リアルタイムの渋滞情報と地図データの両方をインターネット経由でダウンロードでき、ネットワーク環境さえあればいつでも最新の交通情報が手に入るソフトウェアで、11月1日から正式にサービスが開始される予定となっている。現在のところは、まだ月額10,000円と高価なために、タクシーやバスなどの事業者での利用を想定したサービスとなっているが、配信コストを検討しつつ個人向けのサービスも検討するというのだ。今後は、既存の地図ソフトとの連携も含め、インターネットカーナビの実現に多いに期待したい。

渋滞情報を考慮した経路検索、交通規制情報などがオンラインで表示される。

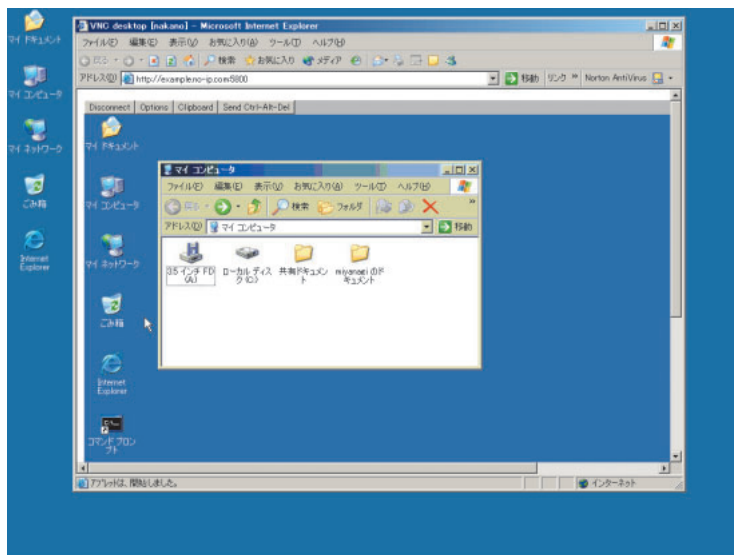


リモートコントロールの決定版 WinVNC

あるパソコンを別のパソコンからリモート操作できるソフト。操作する側はウェブブラウザさえあればいいので簡単だ。

配布元：AT&T Laboratories Cambridge
価格：フリーウェア
www.uk.research.att.com/vnc/

常時接続環境であれば、自宅のパソコンを外先から操作することもできる。ウィンドウズXPにはそのための「リモートデスクトップ」が標準で搭載されているが、さらに便利なフリーウェアが「WinVNC」だ。ウィンドウズ98/Me/2000/XPのいずれもサーバーとして動作させることが可能で、外部からは専用のクライアントのほか、Javaが動作するウェブブラウザからでも操作できる。自宅でルーターを使用している場合には、専用クライアント用には5900番、ウェブからの操作には5800番ポートをそれぞれ、静的NATで外部から操作できるように設定する必要がある。



ウェブブラウザから「http://マシン名(IPアドレス):5800」とすれば、WinVNCサーバーにアクセスでき、パソコンを外部からコントロールできる。

「DiCE」を使えば、現在のIPアドレスを定期的に業者に送信できる。



上記のWinVNCのような、自宅のパソコンに外出先からアクセスする際に利用したいのが「ダイナミックDNS」と呼ばれるサービスだ。ADSLサービスなどでユーザーに割り当てられたIPアドレスを「好きな名前.dyndns.org」といったマシン名と結びつけるサービスだ。これで、数字だけで覚えにくいIPアドレスでなく、自分の決めた名前から自宅のマシンにアクセス可能となる。

こうしたダイナミックDNSサービスに対して、定期的に自宅のIPアドレスを送付してくれる便利なソフトウェアが「DiCE」だ。あらかじめ多くの業者のテンプレートが用意されているので、使い方もとても簡単だ。

ダイナミックDNSをフル活用する DiCE

自宅サーバーには欠かせない、ダイナミックDNSの情報更新を自動で行ってくれるソフト。

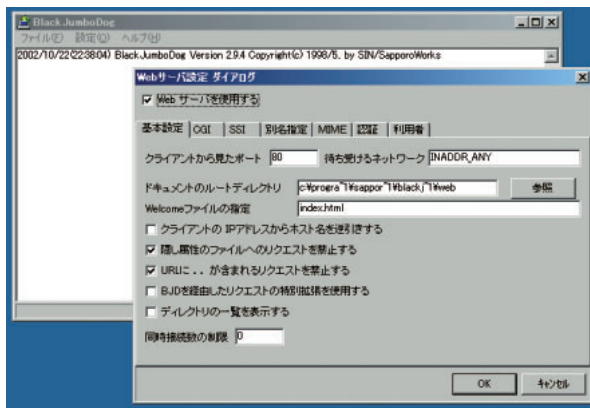
作者：sarad氏
ソフトの種類：フリーウェア
www.hi-ho.ne.jp/yoshihiro_e/dice/

気軽に使える複合サーバー BlackJumboDog

このソフトを起動するだけで、パソコンがウェブサーバー、FTPサーバー、メールサーバーとして活用できる。

著作権者：SapporoWorks
ソフトの種類：フリーウェア
homepage2.nifty.com/spw/

常時接続環境なら、自宅のパソコンをウェブサーバーにすることもできる。ウィンドウズ用のウェブサーバーとして、高機能かつ手軽に使えるのが、この「BlackJumboDog」だ。CGIやSSIの利用もでき、ユーザー認証やIPアドレスによるアクセス制限機能も搭載している。実験用のウェブサーバーとして、アクセス制限で相手を特定したファイルの送信にと、さまざまな用途に利用でき、このほかにもプロキシサーバーやメールサーバーとしても利用できる。



通常は複雑なウェブサーバーの設定も、わかりやすくカテゴリーごとにまとめられている。

NATでもつながるビデオチャット Eyeball Chat

複雑な設定なしで利用できるビデオチャット用ソフト。NATやファイアウォール下の環境でもほぼ利用可能。

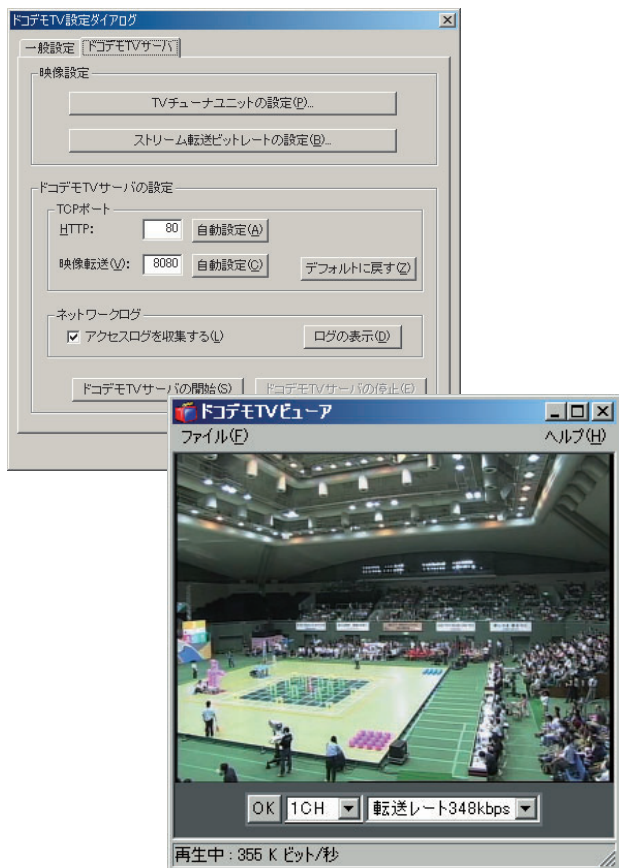
配布元: Eyeball Networks
ソフトの種類: フリーウェア
www.eyeballchat.com

ICQやMSNメッセンジャーなどのメッセージングソフトを使う人も増えているが、さらにUSBカメラを使ってビデオチャットに挑戦してみるのはどうだろうか。ビデオチャットは遠慮しがちな人が多いが、一度使ってみないと面白さがわかりにくいものだ。

しかし、現状では自宅でルーターを使っていると、NAT機能のためにうまく動かないソフトウェアが多い。そこでおすすめなのが、ほとんどの環境で動作するビデオチャット用ソフト「Eyeball Chat」だ。編集部でテストしたところ、双方がADSLモデムのルーター機能(NAT)を利用した状態でも問題なく動作した。



Eyeball Chatの起動画面。通常のメッセージングソフトと同様に、知人をリストから選んでビデオチャットを行う。



(上) DokodemoTVの設定画面。ユーザー名とパスワード、テレビチューナーユニットの選択以外はほとんど変更する必要はない。
(下) 無償で配布されている専用クライアントの「DokodemoTVビューア」。外部からテレビのチャンネルや転送レートを変更できる。

テレビチューナー付きのビデオキャプチャーボードを使って、パソコンをテレビ放送のストリーミングサーバーにしてしまうソフトウェアが「DokodemoTV」だ。マイクロソフトのウィンドウズメディアエンコーダーなど、簡易なストリーミングサーバーとして動作するソフトウェアは多いが、DokodemoTVでは外部のパソコンからは専用ソフトウェアでアクセスし、この専用ソフトウェアからはテレビのチャンネルやストリーミングの転送レートを変更できるのが特徴。ただし、この製品はLAN内からのアクセスに限られているため、そのままでは外出先からはテレビを見ることはできない。PPTPサーバー機能がついたブロードバンドルーターを使うなどして、外出先からVPN接続して、LAN内と同じ環境になるといった工夫が必要となる。

DokodemoTVでは、最近増えてきたMPEG-2をハードウェアでエンコードするタイプの高価なボードでは利用できず、利用可能となるのはむしろ安価なボードが中心だ。DokodemoTVのホームページでは、動作の確認がとれたテレビチューナーボードの機種名を一覧で公開しているので、これからテレビサーバーを作ろうと考えている人は、必ずチェックしてほしい。

自宅のテレビを外出先から ドコデモTV

テレビチューナーボードの映像をほかのパソコンにストリーミング配信できるソフトウェア。クライアントからチャンネルやビットレートも変えられる。

販売元: 株式会社インプレスR&D
価格: 3,000円
www.dokodemotv.com



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp